



KBF 関甲新学生野球
2023 秋季 1部 2部入替戦

第3戦

高崎経済大学戦

5-0

先制

1部

現社3年

投打がみ合い、

入替戦を制す!!



現社3年



死守!!

ラン

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計	H	E
常磐大	3	1	0	1	0	0	0	0	0	5	11	1
高経大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1

追加した。

そして常磐大学の先発は、1戦目で勝利を挙げている荒木嶺臣（現社3）。この日は調子こそよくはなかったが、要所を占めるピッチングで相手打線を、2塁も踏ませない完璧なピッチング。そして、9回を一人で投げきり人生初完封勝利を収めた。

常磐大学は、5-0で、意地の1部残留を決めた。

バッテリーは、荒木-長瀬。

(文・小関貫太)

関甲新学生野球・秋季リーグ戦1部 10位の常磐大学と2部総合優勝の高崎経済大学とで行われる1部2部入替戦（先勝2のチームが勝者となり、次季リーグ戦1部所属となる）の第3戦、常磐大学は高崎経済大学に5-0で勝利した。これにより入替戦は常磐大学の2勝1敗となり、1部リーグ残留が確定した。

【11/4 渋川総合公園野球場】常磐大学の初回の攻撃、1番主将小関貫太（現社3）が四球、2番大塚偉歩己（現社3）が死球で出塁、続く3番大隈聖蓮（現社3）が犠打で1死2,3塁のチャンスを作ると、入替戦絶好調の4番所宜和（現社3）がライトへの先制スリーランで3点を先制する。

その後の2回表、攻撃の手を緩めない常磐大学は、9番長瀬祥太（現社3）が11球粘り、四球を勝ち取り、1番小関がライト前安打でチャンスを広げ、3番大隈がライト前安打で4点目を追加。

その後4回にも3番大隈のキャッチャーへの内野安打で1点を



応援ありがとうございました。

常磐大学体育会硬式野球部一同